

特賞

切実な学びの中で  
確かな金銭感覚を育てる

徳島県・阿波市立市場小学校

藤本 勇二

## (I) はじめに

子どもたちの身の回りには、物やサービスが溢れており、物があるのが当たり前という感覚が蔓延している。学校でも落とし物を取りに来る子はごく少数であり、筆箱には必要のない文房具がびっしりと入っている。物が豊かになり、物のありがたさが薄れるとともに、お金や家族への思いも希薄になってきている。身の回りに物や情報が溢れる中で生活する子どもたちに、金銭に対する健全な感覚を育てることや計画的な生活設計能力を養うことが大切であると考え、本実践に取り組むことにした。

本実践は市場小学校6年生の58名(2クラス)での取り組みである。

### 研究の仮説

子どもたちの生活や問題意識に位置づけた切実な学びを通して金銭に対する健全な感覚や計画的な生活設計能力を養うことができる。

### 実践への手立て

#### (1) 生活や問題意識に自然に位置づける

金銭に関わる学習を子どもたちの学習や問題解決の過程に自然に位置づけ、切実感や必要性を意識させるような学習過程を設計する。

#### (2) 体験を通して実感的に学ばせる

資金を調達したり、リサイクル活動に参加したりする体験活動を通して、金銭の価値や労働の意味を実感させ、健全な金銭感覚を育てる。

#### (3) 生活化を図る

自己資金を運用したり、金銭を実際に使う場面を意図的に設定するなどの具体的な実践の機会を通じて、計画的な生活設計能力の育成を図る。

## (II) 実践1 3万円資金調達作戦(総合的な学習の時間・理科・国語・社会科)

### 1. 科学の祭典を開こう

6年生になって初めてのけやきタイム(総合的な学習の時間)での「どんな学校にしたいか」のワークショップ。そこで出た「あいさつ」「仲間」「笑顔」「協力」「挑戦」などのキーワードを具体化するため「科学の祭典を開こう」に取り組んだ。

「科学の祭典」とは、下級生に科学実験や科学遊びを紹介するイベントである。電極棒を針金に触れないようにゴールまで動かす「電流イライラ棒」、穴を開けた段ボール箱をたたくと空気の渦が飛び出す「空気砲」、空き缶にアルコールを入れて点火すると紙コップが飛び上がる「アルコール爆発」などの科学実験を下級生にポスターセッション形式で紹介する。

校内での活動は発展し、「あすたむらんど徳島」内の子ども科学館で開かれる「サイエンスフェア」で理科の教師や大学の先生に交じって全員が実演した。こうした活動を通じて、人と関わることの楽しさや誰かの役に立つことの充実感を味わってきた。また協力して一つのことを成し遂げることの成就感やあきらめないで挑戦することによって自分への自信も深めてきた。

### 2. 自分たちの資金で

科学の祭典を開催するのに必要な実験材料費等の資金集めに取り組んだ。「国会」と呼んだ学年集会で資金

調達の方法を話し合い、空き缶や古紙、段ボールの回収や授業参観日にバザーを開くことを決めた。資金調達の目標額を3万円と設定した。

6年生社会科の政治の学習内容を踏まえて「3万円調達作戦」では、バザー省（バザーしよう）や古紙回収省（こしかいしゅうしよう）・アルミカンリサイクル省（アルミカンリサイクルしよう）に分かれて活動してきた。それぞれの省には大臣、副大臣、事務次官を置き、各省の活動を自主的に進めた。毎月1回のカンの回収、学期に1回の古紙回収、参観日のバザー開催に取り組んだ。夏季休暇中には保護者や地域の方の協力によって古紙・カン等の回収を行った。

稼いだ金は財務省が通帳を地域の銀行で作って管理してきた。毎回の収入・支出を台帳に記載し、国会で報告した。それぞれの実験ブース（「電流イライラ棒」や「空気砲」など12ブース）から必要だと請求のあった消耗品、実験材料等は財務省が検討し、資金の効果的な運用について学年集会で意思決定をしてきた。

### 3. かんぱに一ぜよ

3学期には各省の資金調達で得た45,267円から科学の祭典で支出した24,513円を差し引いた20,754円を資本金として、効果的に運用したり、責任感のある仕事に取り組んだりとまじめに会社ごっこをする「かんぱに一ぜよ」の単元に取り組んだ。卒業前に行われる「6年生を送る会」を自主的に運営し、謝恩会でも先生方をもてなし、子どもたちが必要だと考えた教室に時計を購入し寄付した。科学の祭典、サイエンスフェアで出展した実験を記録に残すために実験解説書も100部刊行し配布した。こうした活動はすべて自己資金で実現させた。

## (III) 実践2 買い物名人をめざして（家庭科・国語）

子どもたちにとって一番身近な金銭の使い方といえば買い物である。高学年になると家族から買い物を頼まれたり、お小遣いをもらって自分の欲しいものを買ったりする機会が増える。買い物するには店も選ぶし、商品も値段など比較して選ぶ。しかしまだおつかいを頼まれても高い商品を買ってしまったり、品質表示を見ずに賞味期限の近い商品を買ってきってしまうこともあることがアンケートから明らかになった。本当に必要な物なのかどうか、自分でよく考えて実践できる「買い物名人」になることをめざして取り組んだ。

### 1. 指導計画

第1時	家庭生活における金銭の支出	1時間
第2時	我が家の買い物の工夫	1時間
第3時	買い物の工夫をまとめる	1時間
第4時	計画的な金銭の使い方と選び方	1時間
第5時	買い物の工夫を発表	1時間
第6時	物の有効な使い方	1時間

### 2. 実践

第1時で家庭生活における金銭の収入、支出について考え、商品の購入以外にも金銭の使い道があることに気付かせた。大切なお金を上手に使う方法を考えようと話すと、チラシを見て買う、お買い得品を買うなど安く買う工夫がたくさん出てきた。子どもたちの発言からは計画的に買うことや安心・安全な品物を買うことには、関心を向けていなかったのので、我が家の買い物の工夫を調べてみよう、みんなの知らない工夫が見つかるかもしれないよと呼びかけた。

---

家族から取材してきた工夫を一人ひとりが画用紙にまとめた。「国産と外国産どちらを買う」「レシートは大切」「品質表示のマークに注目」「計画的に買い物しよう」「スローフード VS ファストフード」「生協のいいところ」についてポスターセッションを行った。聞き手は発表を聞いて小グループで話し合う。次の発表の場所に移動してまた話し合うということを繰り返した。6例の発表を一通り聞いたあともう一度全員のポスターを読んで「わたしの5箇条」を作った。以下にその1例を挙げる。

1. 本当に必要なものか考えて買う 2. 何を買うかメモをする 3. エコマークを見る 4. 消費期限、賞味期限を見る 5. レシートは残しておく

1. 別に同じようなものがあつたら買わない 2. 品質がよく新鮮なものを選ぶ 3. チラシを見て計画的に買い、むだづかいをしない 4. 同じ値段のノートならベルマークの付いているものを買う 5. 買い物に行く前に冷蔵庫を見てから行く

#### (IV) 実践3 修学旅行(学校行事・学活・社会科・算数)

修学旅行では、子どもたちだけで行動する場を設けた。金閣寺の駐車場を出発して太秦映画村に集合するまでの3時間、グループで自由に見学地を選びタクシーを使って見学するという研修である。事前に、見学地について詳しく調べ、清水寺、東寺など2ないし3カ所の見学地を入れたコースプランを立てさせた。ツアーコンダクターの方のアドバイスを受けて、プランを修正・改善した。調査した拝観料や駐車代を各グループの会計係があらかじめ集金し、見学地で支払い、その結果を修学旅行終了後、会計報告した。残金が出た場合は返却したり、募金をしたりしたグループもあった。科学の祭典の費用として寄付したグループもあった。

#### (V) 実践4 「Eスクールいちば」(学校生活)

「科学の祭典」そして「サイエンスフェア」が終わっても、各省の活動が学校全体にとって意味があり、環境にいいことが教職員の間でも実感できた。学校全体でも続けることにした。環境委員会の仕事となった。さらにこうした実践を踏まえて「学校版環境ISO」の指定を取得した。合い言葉は「楽しく学んでEスクール」である。「Eスクール」はエコのE、環境にいい学校のいーから名付けた。

「Eスクールいちば」の行動方針は次の5つである。

- ①水や電気を大切に使います ②自分の持ち物や学校の物を大切にします
- ③ゴミのポイ捨ては絶対にしません ④ゴミを減らすことを考えます
- ⑤環境のことをしっかりと勉強します

この行動方針を具体的にしたチェックシートを環境委員会で検討し作成した。環境にいいことを分かりやすく書き、一人ひとりの環境への意識がわかるようになっている。6年生のアイデアでビンゴカードも作成した。「Eスクールいちば」の活動を学校全体に広げるために、「Eスクールいちば」の行動計画を廊下に掲示したり、ポスターを貼って呼びかけたりしてきた。

#### (VI) 実践の成果と課題

##### 1. 生活や問題意識に自然に位置づけることの有効性

金銭に関わる学習を子どもたちの学習や問題解決の過程に自然に位置づけ、切実感や必要性を意識させるような学習過程を設計することにより、効果的な指導を行うことができた。科学の祭典の開催をめざす中で金銭の価値や労働の意味、計画的な運用等を総合的に学習することができた。

子どもたちの問題意識が発展した形で生まれた「Eスクールいちば」の活動は取り組みを通じてチェックカー

ドの平均点が10ポイント上昇した。また毎月の水道の使用量が減少したり、家庭でも電気のつけっぱなしや節水について子どもたちが大人を注意したり、気をつけるように話したりすることが多くなった。

職員室での取り組みも進んできた。「Eスクールいちば」を推進するための校内推進委員会を定期的に開催したり、ゴミの分別区分に応じて、収集場所を決め、収集方法が周知されている等、チェックリストを作って評価するなど「Eスクールいちば」の活動が学校の生活になってきている。子どもたちは「アルミカンの回収はこれからも続けて欲しいです。」そう言って卒業していった。科学の祭典がきっかけで始まった回収活動は学校全体の取り組みに発展していった。自分たちが考えて動けば学校を変えていける、生活する場として学校を考える雰囲気が残された。

## 2. 体験を通して実感的に学ばせることの効果

資金を調達したり、リサイクル活動に参加したりする体験活動を通して、金銭の価値や労働の意味を実感させ、健全な金銭感覚を育てることが可能となった。活動に取り組んだアルミカンリサイクル省副大臣の感想を紹介する。

### 「900円はどのくらいの価値だろう」

ぼくは、1年間をかけて900円の価値と意味を考え続けることができた。900円にまつわり、お金の大切さと働く意味にも気がつくことができた。(中略) アルミカンをかごの中から取りだして思いきりガシャンとつぶすと気持ちがよかった。プルタブを一つ一つ地道に取って10個くらいカンを並べて一気に連続でつぶしていったりして、なかなか楽しい作業だった。

だけど、たくさんアルミカンがあつてなかなか大変な作業で時間もかかった。袋が破けるとガラガラガラガシャンと雪崩のように崩れてまた袋に入れ直した。中にタバコが入っていたり、中味が入っていたりもした。夏になって暑くなり、冬になって冷たくなり大変だった。

でも不思議なことにはなかつた。その頃のぼくたちには、心の支えがあつてけっこう楽しくできていた。心の支えというのは、一つは、どれだけアルミカンが貯まったのかを報告することだ。たくさん回収できてみんなが「おお！」と驚いてくれたときは、気持ちがいい。1回目の回収結果は900円だった。ゴミ袋10袋、30kgでたったの900円かと少ないという人や900円も貯まったのかという満足そうな人もいた。

ぼくは900円も貯まってとても満足だった。でも900円のことより30kgもぼくたちできちんと回収できたことがうれしかった。リサイクルもできて、しかも環境にいいし、お金ももらえて一石三鳥と思える。袋に詰めて回収車に乗せてもらったときには気持ちがすーっとした。

もう一つの支えは目的があることだ。科学の祭典の資金集めのためにやってきた。(中略) 自分たちがアルミカンで集めたお金で下級生が楽しんでくれる、そしてアルミカンを役立ててくれる。そう思うともっと集めるぞと誓った。自分たちの夢を実現するために協力しながら働いて資金を調達する、そして資金をよく考えて有効に活用していくことを学んだ。生きたお金の使い方がどんなものなのかが分かった。(中略)

900円を稼ごうと思えばどれだけの時間と手間と熱意と願いが必要か。そうしたことの引き替えとして900円の価値を実感できた。働くことの意味が少し分かったような気がする。

子どもたちが講師として取り組んだ科学の祭典やサイエンスフェアでは「時間を守って説明する責任感」「どんな実験にも助言できる知識」「お客の反応を見ながら流れを組み立てる判断力」等プロの仕事を肌で感じることができた。またお客さんと交流することの楽しさとやり甲斐も味わった。アルミカンや古紙回収では回収業者の熱心で丁寧な仕事ぶりに着目することもできた。こうした活動から本校の総合学習の目標・内容としてこれまで設定していなかったスコープ「キャリア」を設定することにもなった。

---

### 3. 生活化を図ることによって効果が高まる

修学旅行での自分たちのプランによる研修は他の教科や行事等でも生かされた。例えば家庭科の調理実習では、必要な材料の購入と会計報告が当たり前になった。謝恩会や6年生を送る会でも必要な物だけを購入準備し、会計を明確にするという計画的な生活設計能力を発揮することができた。

科学の祭典の自己資金調達を政治の学習をモデルに行ったことによって意欲も高まり、資金運用したり、金銭の計画的な支出を学ぶことができた。

子どもたちが作った「買い物5箇条」を自宅に持って帰り保護者からの助言や感想をもらうことにより家庭での実践化を図った。

○よく考えられた5箇条なのでこれからの買い物の参考にさせていただきます。

○魚や野菜等自分の目で新鮮さを判断できるように勉強しておくといいね。計画的にというのは大事なこと、いろいろな面で重要と思うよ。

○買い物に行ってもいろいろと考えて買ってくれています。これからもどんどん一人で買い物に行く機会が多いと思います。もっともっと経験して自分流のよい買い物術を身につけてください。

○「外国産の品物が安くても国産の物を買う」に対して……

外国産の物がすべて悪いわけではないので品質を比べてよいと思ったものを買うようにするといいいね。

○「買う物があるときにはまとめて買う」に対して……

まとめて買うと安くなるものもあるし傷みやすい物は使うときにそのつど買う方がよい場合もあるんだよ。

金銭に対する健全な感覚を育てることや計画的な生活設計能力を養う教育は、生活と密着しているだけに、家庭や地域社会との連携が大切である。今後とも家庭と一緒にあって取り組んでいきたい。

## 「科学の祭典を開こう」そして「サイエンスフェアに出展しよう」

徳島県阿波市立市場小学校6年生

4月12日に「こんな学校にしたい」というテーマで学年集会の場でワークショップをしました。「笑顔」「仲間」「協力」「元気」「あいさつ」「挑戦」そんなキーワードが出てきました。「下級生を楽しませたい」「科学を楽しもう」そんな思いとワークショップのキーワードを実現する活動として「科学の祭典をしよう」に取り組みました。



祭典に必要な資金を自分たちで調達するために学年集会で話し合いました。「国会」と呼んでいます。



アルミカンリサイクル省はアルミカン・スチールカン・プルタブの回収を月1回行っています。



回収省は古紙や段ボールの回収を担当しています。



バザー省は参観日にバザーを開きました。



財務省は銀行で通帳を作り資金の管理を行っています。



愛校作業の日には保護者の方の協力で古紙回収とカンの回収を行いました。

**科学の祭典を開催する資金：目標3万円をめざしました！**

7月15日には校内で「科学の祭典」を開きました。



スライムにはたくさんの下級生がやってきました。



アルコールを気化させ爆発させて紙コップを飛ばします。



酸・アルカリの水溶液の性質を使って色水遊びをします。



オレンジの汁を使って風船を割ります。



身近な材料で「音遊び」ブースです。



動物の「擬態」をネイチャーゲームで体験します。



空気ので紙コップを飛ばす「空気砲」。



「電流イライラ棒」は回路の学習です。

「科学の祭典」を通じて下級生は**実験が好き**になり、**科学に興味**を持つてくれました。6年生ももちろん科学が大好きになるとともに**学んだことを伝える楽しさ**と**やり甲斐**を感じました。

「科学の祭典」に招いた「あすたむらんど（子ども科学館）」のスタッフの方から11月に開催される「サイエンスフェア」で出展することを依頼されました。

あすたむらんどで実験ができる！ やったー……でも、まだまだ科学のこと知らないぞ、発表ももっとうまくなりたい、そこで……

9月28日には実験名人湯本博文先生（学研：科学編集長）を招きました。

科学の楽しさを体感するとともにプレゼンテーションのスキルアップをしました。



「空気には重さがある」ことを体感。



名人の実験に全員注目。



サイエンスフェアで出展する内容にアドバイスをいただきました。

「お客様を飽きさせないお話のような実験の流れ」  
 「時間内に実験を成功させる腕前」  
 「たくさんの知識やアドバイスが出てくるすごさ」  
 「科学を楽しんで紹介してくれる笑顔」

自分の担当する実験だけは自信を持って説明できる  
 分かりやすく伝えられるようになろう



発表内容の学年とのつながりを全部の教科書会社の教科書で調べます。



シナリオのことばに間違いがないか確かめます。



実験のリハーサルを繰り返しました。



発表も評価し合いました。

## サイエンスフェアで出展

11月12日(土)にはあすたむらんど(子ども科学館)で開催されたサイエンスフェアで出展しました。6年生全員が12のブースを担当しました。



身近なものを使って楽器を作りました。



酸性・アルカリ性をハーブティーで説明。



ウーロン茶が透明になります。秘密はビタミンC。



蓄光シートを使って星座を作ります。



ミカンの皮の汁が発泡スチロールを溶かします。



空気の輪がよく見えるように暗幕を利用しました。

## 単元名：かんぱに一ぜよ まじめに会社ごっこ 18時間

1. 収支決算をして、2万円の使い道について話し合う①
2. アルミカン、古紙回収をする①
3. 活動のグループを決める①
4. 会社設立の趣旨を話し合う①（本時 4/18時間）
5. 「けやき企画」「けやき出版」「けやきサービス」に分かれて活動する⑥
6. 仕事について考え、自分たちの活動を振り返る②
7. 「けやき企画」「けやき出版」「けやきサービス」に分かれて活動する⑤
8. 成長を振り返る①

※①～⑥は時間数

**本時の学習** 日時 平成18年1月18日（水）第5校時

### (1) ねらい

「けやき出版」「けやき企画」「けやきサービス」のそれぞれのプロジェクト目的（理念）を話し合わせる活動を通じてどんな役に立つのか、どんな意味があるのかを考えるとともに、これからの活動への見通しを持つことができる。

### (2) 展開

活動の流れ	教師の支援・指導
1. 本時の学習内容を確認める。	○アルミカン・古紙回収の収益を財務省に渡して残高を確認し、学習の意欲を持たせる。
会社の理念を話し合おう	
2. これまでの学習を振り返る。 ・できることは ・資本金は ・グループは ・卒業までに ・活動内容は ・会社を作ろう	○できることを以下の3つの視点から整理することを確認する。 ・活動の足跡を残す ・イベント ・品物
3. 会社の理念について話し合う。 ・「けやき出版」 これから活動する参考にしてもらいたい等 ・「けやき企画」 感謝の気持ちを表したい等 ・「けやきサービス」 学校に役立てたい等	○会社の要件を説明しながら理念や事業目的が必要なことに気づかせる。 ○何のために「科学の祭典」を始めたのか。 4月のワークショップの記録を提示し、この視点から理念を考えさせる。 ○企業の理念や事業目的を参考にしながら自分たちの活動の理念についての見方を深めさせる。 ○それぞれの部長が理念を発表し会社全体としての共通理解を図り活動意欲を高める。
4. 本時のまとめをする。	

### (3) 評価

- 理念の必要性に気づいて考えを出すことができたか。
- 友だちの話をよく聞き、自分の考えを持って話し合いに参加することができたか。
- 気づいたことや感じたことを自分なりにまとめ、発表することができたか。
- これからの学習の見通しや所属する部の仕事内容を把握することができたか。

## 家庭科学学習指導案

1. 題材名      買い物名人になろう
2. 題材設定の理由 (略)
3. 本時

### (1) 目標

友だちの家庭の消費生活の工夫を聞くことを通じて自分の生活を見直し、品物の選び方、買い方の工夫を考え、「わたしの5箇条」にまとめることができる。

### (2) 展開

主な学習活動	支援の留意事項
<p>1. 調べたことを発表し合うことを確認し、本時の学習課題をつかむ。</p> <p>(1) 本時の学習課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">買い物の名人になるための方法を発表し合おう</p> <p>(2) ポスターセッションの方法について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題ごとに3つのコーナーを設ける。</li> <li>・ 後半は発表者と聞き手を交代する。</li> <li>・ 聞き手はメモをしたり、質問したりする。</li> </ul> <p>2. 買い物の仕方や工夫について発表し合う。</p> <p>(1) 発表の場所へ移動する。</p> <p>(2) 友だちの発表を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 我が家の食品の選び方。</li> <li>・ 家族に聞いた洋服の選び方。</li> <li>・ 文房具の選び方。</li> <li>・ 我が家の買い物情報。</li> <li>・ 生協の利用の仕方。</li> </ul> <p>(3) メモをしたり、質問したりする。</p> <p>(4) 発表者と聞き手が交代する。</p> <p>(5) メモをもとに「わたしの5箇条」を作る。</p> <p>(6) 「わたしの5箇条」を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時までに調べてきたことを発表させる。</li> <li>・ 「わたしの5箇条」を作ることを目的に、友だちの発表を聞くことを確認する。</li> <li>・ 国語の時間に行ったポスターセッション形式の発表を思い起こさせ意欲的に本時の学習に取り組めるように支援する。</li> <li>・ 聞き取りやすい声の大きさや掲示板の効果的な掲示の仕方などを個別に支援する。</li> <li>・ その場で質問に答えられない場合は後日調べて回答するよう助言する。</li> <li>・ 交代時刻に発表者と聞き手がスムーズに交代するよう促す。</li> <li>・ 自分が調べた買い物の仕方や工夫について、分かりやすく発表するように支援する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画的に買い物をすることや表示を見ることを中心に「わたしの5箇条」にまとめさせる。</li> <li>・ 「わたしの5箇条」を発表することによって、家庭での実践の意欲を高める。</li> </ul> <p>(評) 家庭での実践に意欲をもつ。(観察)</p>



# あなたの「Eスクールいちば」度をチェック!

年 組

## 1 あなたは「Eスクールいちば」を知っていますか

- A よく知っている     B 少しはわかる     C よくわからない

## 2 あなたは学校でゴミを出す場所を知っていますか

- 紙     ペットボトル     ビン     段ボール     スチールカン     アルミカン  
 乾電池     新聞     割れたガラス     プラスチック

## 3 ものを大切に使っていますか

- えんぴつは短くなるまで使う     ノートは最後のページまで使う  
 消しゴムは消せなくなるまで使う     ノートをやぶらない     文具や衣服には名前を書く  
 なくした文具は探す     落書きをしない

## 4 ゴミがどのようにリサイクルされるか知っていますか

- ペットボトル     ビン     段ボール     牛乳パック     アルミカン

## 5 あなたのゴミ減量化（減らすこと）へのかわりはどれにあてはまりますか?

- A しっかりできている     B できていることもあるが、まだのものもある  
 C ぜんぜんできていない

## 6 水や電気を大切に使っていますか

- 歯をみがくときにはコップを使っている     水が出しっぱなしだったら止める  
 そうじにはバケツを使っている     電灯をつけっぱなしにしない  
 絵の具パレット、筆を洗うときには出しっぱなしにしない

## 7 進んでできていますか

- ゴミの分別はきちんとしている     エコペーパーボックスを利用している     落ちているゴミを拾う

さあ、あなたは何点? ※1、5番は A:10点 B:5点 C:1点

それ以外は、チェックを1点として計算してください。

点
---

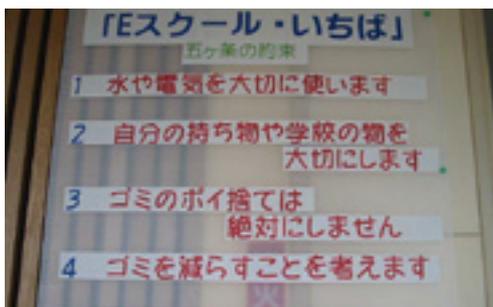
45点以上・・・あなたは、「Eスクールいちば」の達人。この調子で進めましょう。

30点～45点・・・もっといろんなことにチャレンジして達人をめざそう。

30点未満・・・もっと「Eスクールいちば」を勉強しよう。

# 「Eスクールいちば」ビンゴ

ゴミの分別 はきちんと しています	段ボールを 出す場所を 知っていま す	エコペー パーブック スを利用し ています	落ちている ゴミを拾い ます
自分のもの には名前を 書きます	ノートをや ぶりません	電気をつ けっぱなし にしません	アルミカン を出す場所 を知ってい ます
ノートはさ いごのペー ジまで使い ます	水が出しっ ぱなしだっ たら止めま す	「Eスクー ルいちば」 を知ってい ます	そうじには バケツを 使っていま す
消しゴムは たいせつに 使います	えんぴつは みじかくな るまで使い ます	なくしたも のは探し ます	歯をみが くときには コップを使 います



スローガンと呼びかけ。



チェックリストで振り返る。



集会でアルミカンの回収を呼びかける。

平成17年5月26日

8 班のみなさま

市場小学校 8 班 会計担当



## 修学旅行タクシー研修会計報告

## 1 収入の部

(1)  $640円 \times 8人 = 5120円$  ) 5100円  
 (余りの20円はほし金にまわしました。)

(2) 補助として 500円 録 合計 5600円

## 2 支出の部

費 目	金 額
清水寺・拝観料金	1600円
清水寺・駐車料金	1100円
映画村お化け屋敷 <small>(平安神宮の隣)</small>	2400円
平安神宮の駐車料金はいまいでした。(予定、500円)	
計	5100円

## 3 差引残高

$$5600 - 5100 = 500$$

残った500円は、  
 科学の祭典に  
 使わせていただきます。  
 以上、ご報告いたします。あちち!

